

オンライン授業「世界と日本の学びを繋げてみよう」

在外校と京都の小学校を結んだICT教科横断型合同授業の実施

【日程】日本時間 2023年10/25(火) 10/26(水) 10/27(木) 10/30(月)

【授業時間】(70分間) 日本時間 9:30～、

【対象学年】小学部4年、小学部5年、小学部6年

【関連する教科教科横断型】国語、英語、音楽、社会、道徳、ICT教育

国語(光村)＊それぞれの単元の導入、発展活動、既習単元の振り返りとなる位置付け

＊小学部4年単元「伝統工芸のよさを伝えよう」「パンフレットを読もう」

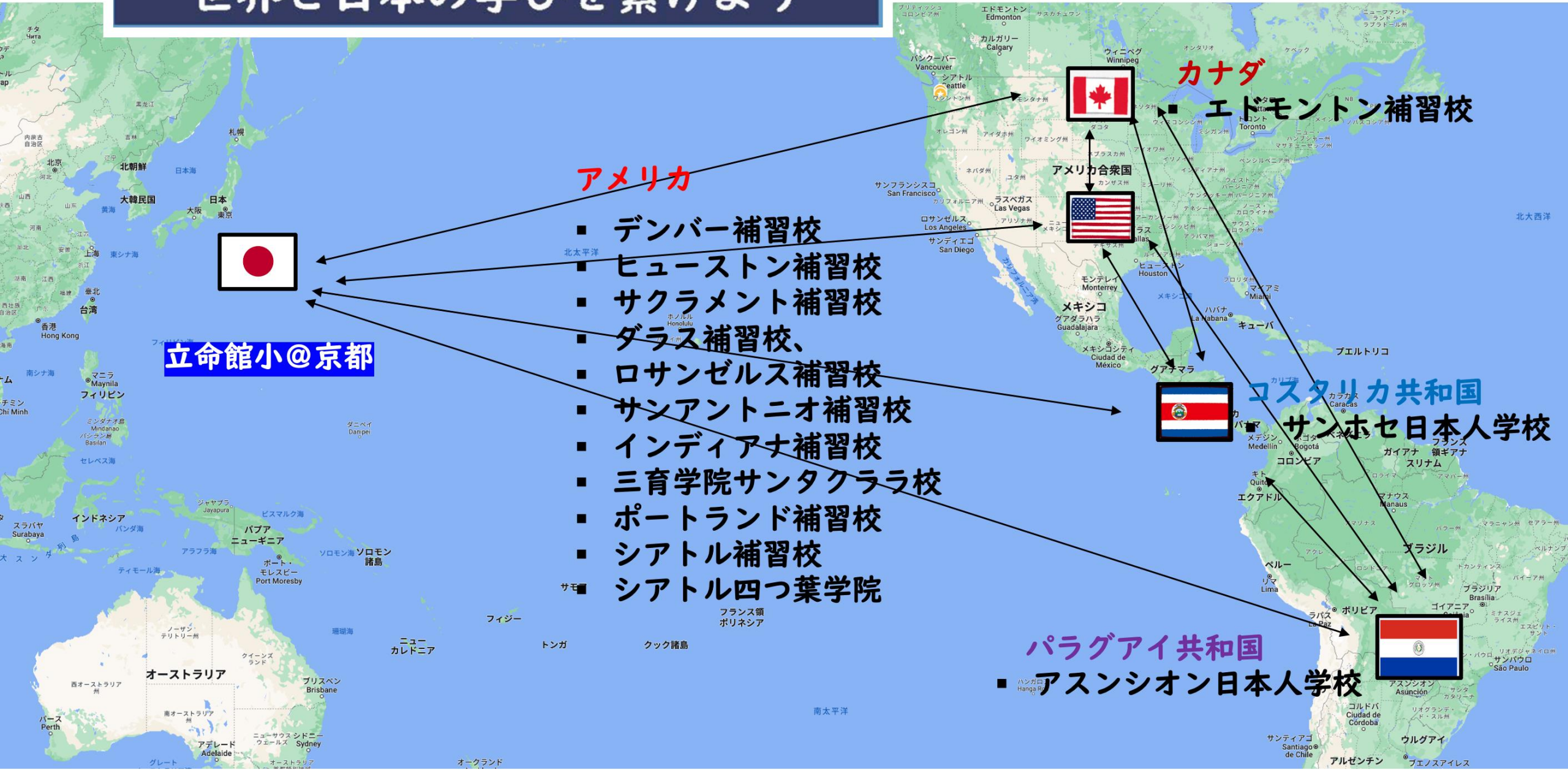
＊小学部5年単元「古典芸能の世界―語りで伝える」「みんなが過ごしやすい町へ」「方言と共通語」

＊小学部6年単元「古典芸能の世界―演じて伝える」「日本文化を発信しよう・パンフレット作り」

音楽 伝統音楽、文科省唱歌・日舞と琴

社会・道徳 我が国の文化や伝統への理解と関心を深める題材

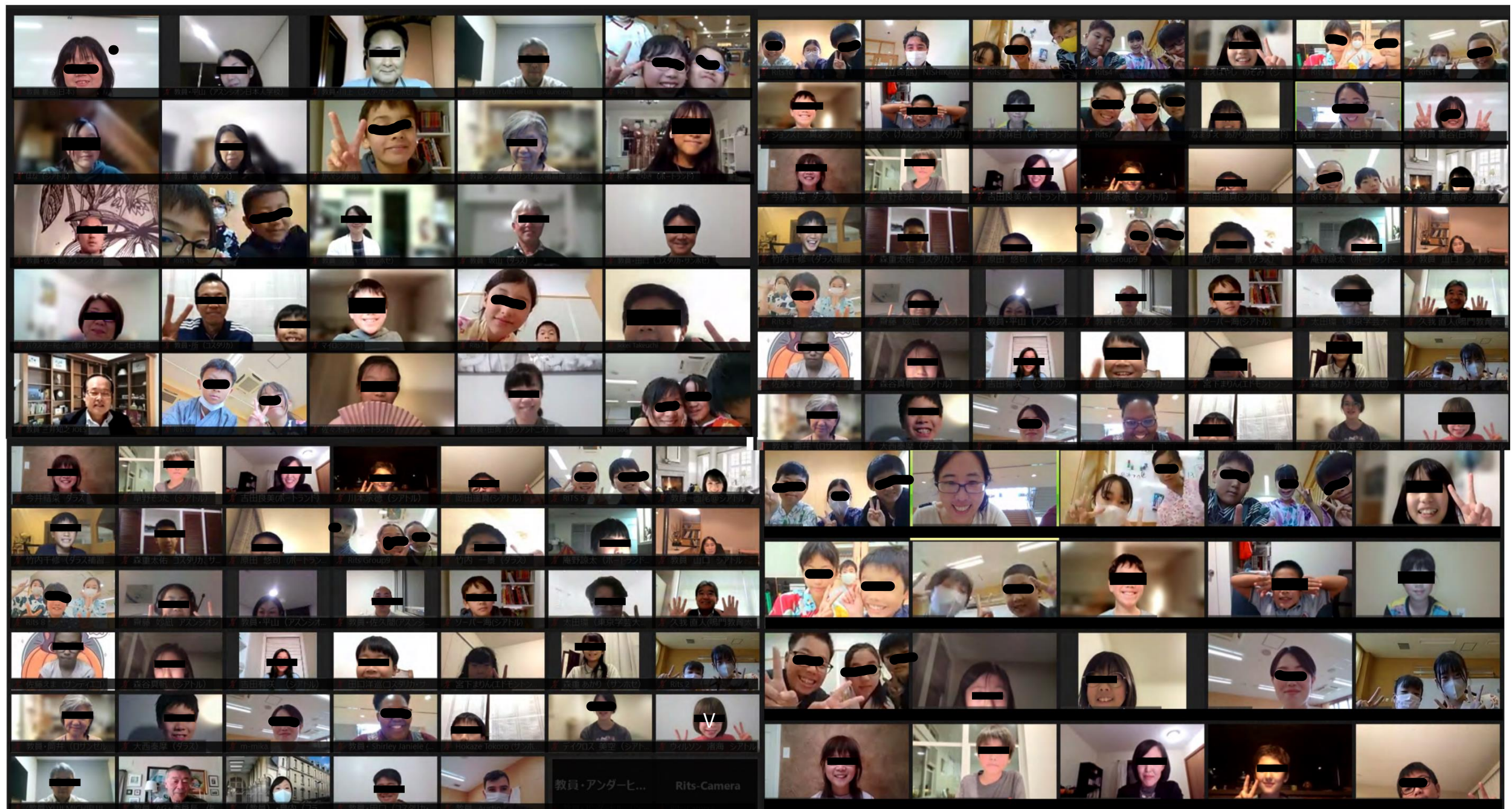
AG+「ICT部会」研究授業 世界と日本の学びを繋げよう



【活動のねらい】

日本の小学校と、世界中の補習校をZOOMで結び、日本の伝統文化と、それぞれの地域文化や特色について主体的に学んだことを共有。

教師主導ではなく、児童同士の主体的な活動の中で得られる「学び」を国語×音楽×英語×社会×道徳などの教科横断型授業の体験を通して、感想や意見、質疑応答しながら互いに学びを深め合うことが目的



授業の様子







ワシントン州.pptx - PowerPoint

Hiro Tanaka

切り替え アニメーション スライドショー 記録 校閲 表示 ヘルプ 何をしますか

文字列の方向
文字の配置
SmartArtに変換

図形の描画
図形の塗りつぶし
図形の枠線
図形の効果

検索
置換
選択
編集

アドイン

フォント

段落

図形描画

配置
クイック
スタイル

四つ葉学院

アメリカ ワシントン州、シアトル

田中友菜



教職員、教育専門家の感想 1

- 同年代の子どもたちが、実際に世界中で出会い、文化体験をリアルタイムで共有できた国際交流の授業となった。
- 文化の相対性を学ぶ経験や実体験を子供達が実現した。
- 課題としては、目的達成のための小グループでの練習の重要性を感じた。
- **コミュニケーション能力全般および母語での対話能力の向上につながる経験であった。**
- 国語、社会、音楽、英語、道徳とのコラボを通じた伝統芸能の共有に成功した。
- 夢が広がり、新たなチャレンジが可能と感じた。
- 子どもたちが恥ずかしさや、ためらいを乗り越え、対話や交流を通じて成長した様子がみられた。
- 教育的な価値として、失敗を受け入れる大人側の寛容性が問われる。
- **他国他州、そして日本に住む子どもたちが、初めて会う他者との関係を、時差や国境だけでなく心の距離をも縮めようと、「関わり方」を試行錯誤しながら学んでいる子ども達の伸びやかで素直な「学びの姿」は大変印象的だった。**

教職員、教育専門家の感想 2

- 初めての取り組みには困難が大きいものだが、4日間にわたり、多くの子供たちに参加の機会があった。
- 子供あつての活動なので、予想外のことはたくさん起こるので、課題については、それらはお互いにカバーして工夫が必要である。
- 子どもたちの頑張りが伝わってくる合同授業だった。時空を超えて、同じ意見だったり「私も知ってる」と言われたりしたときの
- 嬉しそうな顔、一方、「いままで知りませんでした」と言われたときの誇らしげな顔。子供たちのチャレンジと繋がりの実感は、大きな教育効果となって子供たちに残っていくと思う。子どもたち自身にとっても、可能性を感じたりモチベーションになったのではないか。
- 日本語、英語に関わらず、今回のブレイクアウトルームでの子どもたちのみのやりとりに、「対話」の本質、CEFRのいうところのmediation仲介のソーシャルコミュニケーションスキルに関わる要素がある。子供達主体で、対話セッションに責任を持ち切ることは対話と協働の取り組みに、必要なタスク設定であった。

参加児童の感想（在外校）

- 日本の学校や、他国の学校生活、伝統工芸や他地域に興味を持った
- グループ発表や質問に挑戦し、緊張を克服できた
- 日本語や英語での会話が楽しく、日本語の練習をもっと強化したいと意欲をもった。
- 新しいことを知り、楽しい経験だった。
- お互いの地域について伝え合える機会がとても良かった。
- 他校とのコミュニケーションが取れ、貴重な体験だった。
- 京都の文化発表や琴の演奏、日舞を楽しむ事ができた。
- 日本に友達ができ、日本文化や京都にさらに興味が湧いた
- 踊りや三味線の練習に費やした時間と努力に感嘆した。

参加児童の感想（日本@立命館小）

 1日
感想
交流で日本語だけで話さないといけないと思っていたけど、日本語もペラペラだったので話しやすかったです。

 1日
楽しかったこと
いつも外国の人に会って話すことは、全然ないので今回沢山の国からこんなに立命館に会いたいと来てくれてうれしくてしかも楽しくお話ができました

 1日
日本語が母語じゃないのに日本語がうまくてびっくりしました。時間が余っても日本語が話せるから話が進みました。

 1日
外国の人ががんばって作っていたので嬉しかったです

 1日
楽しかったことはお琴を弾いたり雑談したことです

 2日
感想
全然わからないのに頑張って踊ってくれたことです

 2日
四つ葉学院交流 良かった事など
日舞を踊る時少しだけ、覚えていませんでしたが、ちゃんと最後まで踊れたことです。
普段、会えない人とたくさん話せたので楽しかったです。

 2日
感想
交流で嬉しかったことは、日舞の時に一緒に踊ってくれたり、英語の方が得意な子でも私たちに合わせて英語で話してくれたことです。そして、質問にもちゃんと答えてくれたし、四葉学院の子たちは夜だったけれど、最後までよく聞いてくれたことがうれしかったです。

 2日
この交流でできたことは積極的にしゃべることです。はじめは少し緊張していたけれど積極的に勝山さんが話しているのを見ているうちにできるようになりました。楽しかったのはおことです。もともと楽器が好きでたのしいと思えた時があってその時からずっと好きになりました。うれしかったのは最後に日舞でみんな一緒に踊ってくれたところです。あんな短時間で覚えてくれたのでうれしかったです。

 2日
できたことは、コミュニケーションです。
ジェスチャーなどをつかってうまく会話っぽいのができました

 1日
感想
今回の交流で楽しかったことは、最初は、相手が外国に住んでいる人だから英語で話さないといけないと思い込んでいたけれど、いざ、今日やってみると相手に日本語が通じて、こっちからたくさん質問したり、こっちが質問の受け答えをしたことです。

 1日
嬉しかったこと
意外とみんな日本語が上手でびっくりしました
日舞が上手と言われたのでやりがいがありました

 1日
嬉しかったことは、向こうの人とコミュニケーションをたくさん取れたことです。時間が余っても雑談をすることができたので良かったです。

<感想>

今日の交流授業を通して、新しい発見や感じたことを書きましょう。



直接会うことはできなかったけど、zoomを通して、おたがいに国のこと

や相手のことを知れたので、とても楽しかったし、よく分かりました。

びっくりしたことは、英語も日本語もしゃべれていたことです。

相手の人は、外国にいたのに、日本語がペラペラで、すごかったです。

日本のことをよく知っていたし、意見などを交流できておもしろかったです。

またこういうことがあったら、次は直接会いたいです。

一緒に、スポーツをしたりしてあそびてみたいです。

<感想>

今日の交流授業を通して、新しい発見や感じたことを書きましょう。



今日はシアトルの方だけでなく、コスタリカの学校の方も参加してくれたので、アメリカだけでなく、色々な国の文化を知ることができました。ゆかたの着方の説明をした時、他にもゆかた持ってる、と自分のゆかたを見せてくれた子がいました。おことは音色がきれいだったと言ってくれました。こういうことがあったら、いっしょにジャンボリミックスをおどりたいです。今回で英会話の力が少し上がったように感じました。日舞も上手くおどれていたとほめてくれたのでとてもうれしかったです。